

太宰府市議会

体育館設計費減額へ

予算特別委 十分な調査必要

太宰府市議会の予算特別委員会は14日、12年度一般会計予算案のうち、総合体育館の基本・実施設計費5707万円を、基本設計のみができる2000万円に減額する修正案を上議議員らが提出し、9対8で可決した。19日の最終本会議でも可決される見通し。井上保広市長は取材に対し「コメントしない」と述べた。

同市議会では、17年前の95年9月議会で一般会計補正予算案に盛り込まれた社会福祉協議会への補助金計上を認めない修正案が可決されて以来の予算修正となりそう。

【勝野昭龍】

井上市長は昨年12月再議書を出し拒否権を
 議会で、議員提案の携
 帯基地局紛争防止条例
 案が可決された直後に
 市長と対立議員の溝

再議書を出し拒否権を
 発動、今月19日に再議
 決される予定。以来、
 市長と対立議員の溝

は深まっており、市長
 が再び再議を求める
 のかどうか注目され
 る。



市側は、体育館建設
 の第1候補地、同市向
 佐野にある県看護学校
 跡地など2処に、生涯
 スポーツの拠点となる
 ような体育館と、子ど
 もや高齢者の集いの場
 や防災機能を併せ持つ
 施設を14年度までに完
 成させるとし、12年度
 予算案に基本・実施設

計費として約5700
 万円を計上した。

しかし、第1候補地
 を含む東佐野地区は、
 JR太宰府駅設置と区
 画整理が予定されてお
 り、体育館建設が先
 になったことや、なぜ今、
 体育館建設なのかと議
 員側が反発。上議員は

「多目的施設というが、
 統合型なのか分散型な
 のか、ランニングコス
 トも不明確で、基本計
 画の段階で市民の声を
 聞く姿勢もない。建設
 場所、規模、時期など
 について議会も十分調
 査研究する必要があ
 る」と提案理由を説明
 し、基本設計費相当の
 2000万円に減額す
 る案を示した。

修正案に反対する議
 員からは「減額しなく
 ても、調査研究などは
 できる」との意見が出
 た。



太宰府市総合体育館の第1建設候補地とされる県看護学校跡地